別紙：研究会プログラム

歴史地域学から見た東南アジア研究の未来

－桜井由躬雄先生を偲ぶ－

昨年12月に急逝された桜井由躬雄先生が活躍された時代は、日本で東南アジア研究が大きく進展した時代であった。とりわけ、歴史研究からスタートし、フィールドワークや自然科学系の考え方を歴史研究に取り込もうとした桜井先生の学術的な足跡は、東南アジア研究の試行錯誤の足跡でもある。歴史研究と地域研究を架橋し、その双方に大きな功績を残された桜井由躬雄先生を振り返り、東南アジア研究のさまざまな分野の研究者とともに、その学術的な成果と意義を考え、東南アジア研究の未来へのステップとしたい。

研究会

日時： 2013年4月19日（金）午後2時～

場所：京都大学稲盛財団記念館3階大会議室

懇親会

日時： 2013年4月19日（金）午後6時30分～

場所：京都大学稲盛財団記念館3階中会議室

プログラム

14:00-14:10 趣旨説明

14:10-15:40歴史研究とフィールドワーク：

ベトナム史研究、東南アジア史研究、アジア海域史研究から考える

 発表者

 桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科）

 岡本弘道（県立広島大学人間文化学部）

15:40-16:00 休憩

16:00-17:30 地域研究と歴史地域学：

生態基盤と村落から東南アジアを考える

 発表者

 高谷好一（京都大学名誉教授）

 柳澤雅之（京都大学地域研究統合情報センター）

17:30-18:00 総合討論

18:30 懇親会